

## セブ北部地域保健衛生事業

大阪赤十字病院 看護師 服部智奈津

派遣期間 2018年7月14日～2019年1月14日

報告日 2019年1月25日

2013年11月にフィリピン中部を直撃した台風30号（国際名：ハイエン）により、セブ島北部とその周辺地域も大きな被害を受けました。日本赤十字社は発災直後からの医療保健分野の緊急支援、その後、住宅再建、生計向上支援、地域保健、防災研修などの復興支援を行いました。その後2017年1月からフィリピン赤十字社とともに地域保健衛生事業を行っており、私はこの事業のため、セブ島北部にあるボゴ市に6か月間派遣されました。



私が赴任した当初、驚いたことの一つはフィリピン料理の味の濃さでした。熱帯に位置するフィリピンですが、日本でおなじみのタイ料理やインド料理のような辛さや酸味があるものはフィリピン料理には少なく、塩味や甘味が強いものが多いです。どの料理も主食である白米によく合う味付けで、フィリピンの方たちはおかずとともに白米をたくさん食します。そしてミリエンダと呼ばれ



バナナの葉に盛られた様々なフィリピン料理

る間食を取る習慣があり、小学校でも休み時間には、学校周辺の商店に児童がお菓子を買うに行く様子をよく目にします。私も派遣期間中は、フィリピン料理をたくさんの白米と一緒においしくいただき、現地事業スタッフとおやつを食べることを楽しみとしていました。このような食文化があるフィリピンでは近年、心疾患、高血圧、糖尿病といった生活習慣病が増加傾向にあり、心疾患や血管系疾患は同国での死因上位となっています。現地の方々の食生活を一見するだけでも、生活習慣病が問題となっていることが納得できました。

当事業の主な活動は、地域での疾病予防、健康増進に対する取り組みと小学校での保健衛生促進活動です。地域での活動は事業対象各バランガイ（フィリピン最小の行政単位、村に相当）より選ばれた地域保健ボランティアを中心に行われます。地域保健ボランティアはフィリピン赤十字の事業スタッフ（以下、



地域保健ボランティアによる住民への健康教育

事業スタッフ) の支援のもと、地域の脆弱性に関する調査と、健康や衛生に関する地域の人々の知識や行動に対する調査を行いました。これらの調査から高血圧や糖尿病といった生活習慣病、下痢、そして一部のバランガイでは低栄養といった健康問題が選出されました。現在はこれらの健康問題について、地域保健ボランティアが地域の集会や家庭訪問にて健康教育を行っています。病気の予防や管理をするためには衛生・生活習慣の改善が不可欠です。習慣とは長年培われてきたものであり、その改善には時間がかかるでしょう。当事業は地域の人々が地域保健ボランティアによる健康教育を通して、自らの衛生・生活習慣の見直しに関心を持ち改善されること、そして地域の健康状態が向上することを目指しています。

もう一つの活動は小学校での保健衛生促進活動です。フィリピンでは、正しい手洗い方法やごみの管理など適切な衛生習慣が未だ定着してはおらず、不衛生な環境が要因となり感染症にかかることも少なくありません。そのような環境において、正しい衛生行動をとることは自分の身を守るために重要です。小学校での活動は、子どもたちが自身の衛生習慣について考えるところから始まります。そこから衛生習慣や環境に対して問題意識を持つためです。そして誤った衛生習慣が健康にどのような影響を及ぼすのかを学び、どうしたら



児童と担当教師が共に保健衛生促進活動の研修を受けた

感染症を予防することができるかを考えていきます。自ら解決策を考えながら、正しいトイレの使用方法やごみの処理の仕方、手洗いの方法などを習得していきます。子どもたちが正しい衛生習慣について学ぶことは、自らの健康を守るだけでなく、その学びを家族や周囲の人々へ伝えることにより、地域の人々が衛生習慣を見直すきっかけにもなります。



事業スタッフと健康問題について話し合い

事業スタッフは地域での地域保健ボランティアの活動をモニタリングしながら、小学校での保健衛生促進活動を進めるため、多忙な毎日を送っています。私の主な役割は、この事業スタッフのサポートでした。例えば、彼らは医療保健系の有資格者ではないため、健康問題として選定された疾患について、まずは自らが学ぶ必要がありました。さらに、それを地域保健ボランティアや地域住民が理解できるようにその内容を簡

潔にまとめたり、地域保健ボランティアが持続して活動するようにモニタリングをしたりしなければなりません。そこで私は看護師として患者さんと関わった経験を活かして助言をしたり、事業地に同行して地域保健ボランティアへの指導方法や指導内容についてフィードバックし、どのようにしたら地域保健ボランティアが活発に活動してくれるかを話し合ったりといった関わりを持ちました。

私は今回が初めての要員としての海外派遣でした。地域の保健衛生の状況が改善するように事業スタッフと協力しながら、活動を進める 6 か月間はとても充実したものとなりました。当事業は終盤に差し掛かっています。当事業が無事に終了し、地域保健ボランティアによる保健衛生活動が地域に根付き継続していくこと、そして地域の人々の保健衛生への意識が高まり、健康状態が改善することを心から願っています。

平素より当院の国際活動へ多大なるご理解、ご支援を賜り感謝申し上げます。